

アンケートへのご協力ありがとうございました。結果を受けて、保護者、生徒、教師の三者で共有し、今後、向上や改善に取り組んでいきたいと考えています。昨年度の結果と比較して気になった項目や小学校と連携して取り組んでいきたい項目について、以下のようにまとめました。

【生活】にかかわって

・No.1 学校生活を楽しいと感じるか

保護者は89%(R4=75%)、生徒は78%(R4=75%)がA評価・B評価でした。昨年度に比べいずれも向上しております。保護者、生徒ともに向上しておりますが、生徒に関しては+16ポイントと大幅に上昇しています。年度当初、校長がめざす学校として「楽校(がっこう)」を掲げました。生徒も「楽校」を意識して日々の学校生活をつくりあげたように感じております。そして、義務教育最後の3年間は、思うようにならないもどかしさに気が重くなったり、悩んだりすることもあります。そうした困難を乗り越えた時に感じられる「楽しさ」も実感させたいと考えております。

・No.2 時と場に応じた挨拶・言葉遣い

A評価・B評価について保護者(80%以上)、生徒(90%以上)ともにほぼ昨年度と変わらない結果でした。学校生活において、教師や来校者に対して敬語で話すよう意識できています。また、登校時に進んであいさつのできる生徒も多くなります。現状に満足せず、国語の授業を中心に正しい言葉遣いの重点をおいた指導をします。また、学校や串原以外の場所でも、場に応じた言葉遣い(言動)に留まらず、進んで挨拶できるなど行動面でも場に応じて対応できる姿を目指していきます。

・No.3 社会のルールを守っているか

保護者の総合評価ポイントは下がったものの、A評価・B評価は90以上であり向上しています。また、生徒は昨年度同様にA評価・B評価100%、総合評価ポイントも変わらずでした。社会のルールを遵守することへの意識の高さが地域の安心・安全にもつながっているように感じております。

【学習】にかかわって

・No.4 自分の考えや思いを人に伝えることができるか

保護者の総合評価ポイントは微減ではありますが、A評価・B評価は向上しております。教師からは、授業中の姿では「おおむね満足できる」レベルにあると考えています。しかしながら、生徒は昨年度100%であったA評価・B評価、総合評価ポイントともに20ポイント程度下がりました。昨年度よりも生徒の意識や評価基準が高くなり、より高いレベルを目指している。或いは、大人の感覚では及第点を出せるレベルに到達しているが、生徒にその実感がもてていない。できていることやできていないことを具体的に伝えていくことが大切であるとと考えています。

・No.5 家庭学習での習慣

保護者、生徒と共に昨年度よりも向上しています。この結果から、家庭で学習時間を確保し、継続的に取組んでいることが伺えます。しかしながら、教師の評価については昨年度よりも29ポイント低下しました。その要因として、授業中にできていることが、単元テストや定期テストの結果につながっていないこと。学習課題(宿題)が期日までに提出できないこと等から、家庭学習の内容について、丁寧な個別指導が必要だと考えています。夏休み明けからテストのアフターケアに重きを置いて、次の2点に取組んでます。①テストの結果表を作成し、得点の変遷を視覚化することで、教科ごと或いは5教科の目標を設定しやすくしたり、主体的に学習に臨めるようになりつつあります。②設定した点数に届かなかった場合は、再テストを行ったり学習課題を課したりするなど、学習内容の定着をめざし、個に応じた指導を行っています。

・No.9 確かな学力の定着、・No.10 「ICT機器」の活用

保護者、生徒、教師、三者とも昨年度並みの結果でした。確かな学力が定着するようNo.5でも述べたことに加え、個別最適な学習方法についてもアドバイスすることが有効だと考えています。一人一台端末が導入され3年目となり、一定の成果が上がったと考えております。今後は、より効果的な活用方法や授業づくりについて、教員研修を実施したり、互いの実践を交流したりするなどスキルアップを図っています。また、2年目となったQubenaについては、日々の継続的な取組が本年度の全国学力状況調査の結果につながったと捉えています。今後、より効果的な取り組み方を考えていきます。今後、「教科書に準拠している、保護者の援助や見届けがしやすい」等、より効果的なドリルアプリの導入を検討しています。情報端末の本格的な導入から3年を迎えた現在、iPadに私的な画像や動画等を保存し、休み時間や登下校中に視聴するなど本来の目的以外の使用やiPadの破損や紛失が恵那市内で増加傾向にあります。引き続き、情報モラルや情報リテラシー教育にも取り組んでいきます。ご家庭での情報端末の扱い方への助言や見届けをお願いいたします。

・No.6 読書習慣

数年前より課題となっており、学習委員会の企画や生徒による購入図書を選定、家庭教育学級の読み聞かせ、振興事務所にもご協力頂いた恵那市中央図書館のオンライン貸出等、様々な取り組みを行っています。学校では、小中ともに朝活動で読書の時間を位置付けています。限られた時間ではありますが、本に触れる貴重な時間を大切にしていきたいと考えております。【読書により、「知識量が増える」「判断力が身に付く」「創造力が向上する」「語彙力が増す」「会話力や文章能力が向上する」など、たくさんメリットがあるそうです。むしろ「リットしかない!」と言い切る方もいるほどです。素敵な本がたくさんあります。そして、新聞を読むこともできるとよいですね。(学校報10月号より)】

【その他】

・No.7 自己肯定感

・No.11 よさや頑張りを認めたり、相談に応じたりしている

A評価、B評価、総合評価点について、保護者の評価は昨年度より向上、生徒、教師は昨年度並みでした。かかわって、No.11の質問では保護者、生徒ともにA評価、B評価併せて100%でした。引き続き、生徒自身が自分の良さを実感できるよう、具体的な事実に基づき生徒を認め、一人一人がもっているよさを実感できるようにしたいと考えています。生活面、学習面など保護者の方の相談にも応じて参ります。

・No.12 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている

昨年度よりも10ポイント上昇しております。本年度より保護者にも評価いただきましたが、A評価、B評価併せて100%でした。(こうした意識をNo.13につなげたいと思います)

・No.13 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している

生徒のA評価、B評価で14%、総合評価点10ポイント昨年度よりも向上しています。本年度より保護者にも評価いただきましたが、A評価、B評価併せて56%、総合評価点は54ポイントでした。また教師の総合評価点は前年より15ポイントマイナスでした。失敗を恐れなくて挑戦できるような力が定着するよう、指導や助言といったサポートを保護者(家庭)と教師(学校)が連携して行っていきたいと考えています。

【保護者からいただいたご意見等】

A.中学校生活は楽しく過ごせていると感じます。社会に出るためにも、積極性を身につけてくれると、なお有難いです。

B.特に朝など一緒にいる地区の方への挨拶ができていないように思います。もう少し積極的に自分から挨拶が出来るといいなと思います。・学校全体、あいさつがもっとできると良いと思います。

C.家庭学習は身につけているが、読書の習慣が何故か無い。・キュービナ学習がどれだけ力になっているのか疑問に思っています。

D.本もなかなか読まないです。好きじゃない様子。

E.慎重なのか、先に失敗のことを考える。(先のことを考えるのは、ある意味良い事)

F.保護者の人数(世帯数)、目ころの用務員さんの範囲では整備しきれていないのが現状だと思います。壮健クラブの方々のご協力も大変ありがたいのですが、市教委へ要望し、子どもたちにとって他校と不平等の生じない環境を整えてあげて欲しいと思います。後援会費の協力も中止となりました。予算上大変厳しいとは思いますが、お願いします。

G.学校でのPTA活動は良いが、恵那南地区の中学校統合の進め方では、串原の保護者に寄り添ったPTAとは思えません。保護者の代表でのPTAの役員で有る事。

H.プール建て直せると良いです。

I.宿泊でなくてもよいのですが、中2の時、校外活動があるといいなあと。学びも多いと思うので。(もちろん宿泊だと子どもたちは喜びますが)

【中学校より】

A.B.にかかわって

…ご意見にもあったように、学校でも「社会に出る」こと、つまり「社会で通用する」力を身に付けさせたいと考えております。挨拶は人間関係づくりに大きくかかわっていることから、誰に言われるでもなく自ら進んで挨拶ができるように願っています。本年度も月に1回学校運営協議会の挨拶活動を位置付けていただいたり、小・中の生活委員が登校時の挨拶キャンペーンを行ったりしています。

C.D.E.にかかわって

…学習や読書については前述の通りです。一人一人が自分のよさや持ち味を自覚・実感できる。身につけたことを自信とする。目標達成への見通しがもてるようにする。先々への不安は、誰もが直面することではあります。それを乗り越えるような力を身につけることができるように、大人(保護者や地域)の手をどこでかけるかを見極め、生徒自身で乗り越えたい経験を奪わないようにすることも意識していきたいと考えています。

F.G.H.I.にかかわって

…修繕や備品購入など恵那市への希望や要望は、その都度お伝えしております。また、教育委員会の訪問や面談などの場において、本校の状況も話題にしております。この夏に発生したプール施設の不備に関しては、水泳学習ができるよう、場所や移動手段について学校側の要望に即応していただきました。時間やお金がかかることについては、未だ進んでいない点もありますが、引き続き恵那市や教育委員会との連絡を密にとって参ります。

I.にかかわって

…4年ぶりに参加した太鼓祭りは、保存会にご協力いただき郡上市まで出かけることができました。短い時間ではありましたが、サンプルづくり体験や資料館の見学などの校外学習もできました。見聞を広げるこの効果は大きいことを改めて実感したところです。次年度も関係各所、外部機関との連携や補助金の運用方法を工夫するなど、生徒に有益な学習活動を検討していきたいと考えております。

その他

…休日の部活動につきましては、保護者、地域、関係機関にご理解・ご協力いただき、地域移行への流れをつくることができました。おかげ様で、前年度よりも職員の休日出勤、大会引率を減らすことができるなど、働き方の改善につなげることができました。次年度は、さらに働き方改革を推進していこうと考えております。

今後とも保護者の皆様のご理解とご協力の下、よりよい串原中学校になるよう取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。